



前号のおさらい：白金の平均足とMACD

発行日：2014/2/7



前回1月24日発行のテクニカル分析において、「東京白金は平均足が陰転しているがMACDはまだデッドクロスしていない。このため上昇トレンドはまだ継続しているものとする。MACDがデッドクロスしないまま平均足が陽線した際には調整の完了として再度上昇することが予測される。」とした。しかしながら翌日から大きく値を下げるとMACDもデッドクロスし、2月5日には4490円まで急落した。今日の取引にて平均足が陽転しているがMACDはまだ下を向いているため再度下落の可能性があり、買いで入る場合には警戒が必要だ。

TOPICs ストキャスティクスとは

「ストキャスティクス」は1950年代にGeorge Lane氏により開発されたオシレーター系のテクニカル指標。直近の終値価格が一定期間のレンジ（高値安値の幅）の中でどの水準にあるかを分析する。価格の「売られ過ぎ」、「買われ過ぎ」を判断するための指標で、ストキャスティクスは、**トレンドがない相場で売られ過ぎ、買われ過ぎを判断する逆張りのテクニカルツール**といえる。

ストキャスティクスの基本となるラインは「%K」「%D」と呼ばれ、以下の計算式で算出される。

$$\%K = (\text{当日終値} - \text{過去}n\text{日間の最安値}) / (\text{過去}n\text{日間の最高値} - \text{過去}n\text{日間の最安値}) \times 100$$

$$\%D = \Sigma (\text{当日終値} - \text{過去}n\text{日間の最安値}) / \Sigma (\text{過去}n\text{日間の最高値} - \text{過去}n\text{日間の最安値}) \times 100$$

売買シグナルは、%Kが%Dを下から上に抜けた時が買いシグナル、上から下に抜けたときが売りシグナル。かつ、%Kと%Dが80%以上だと買われ過ぎ、20%以下だと売られ過ぎになるので、80%以上で売りシグナルのときに売り、20%以下で買いシグナルのときに買うと、いわゆる「ダマシ」に遭う恐れが少ないと考えられる。

また、相場が新高値や新安値を付けたにもかかわらず、ストキャスティクスのほうは高値や安値の更新によってこれを確認できなかった場合、ストキャスティクスのダイバージェンスとなり、MACDのダイバージェンス同様に相場の天底の出現を示唆する可能性が高いサインとなる。

TOPICSs 金市場をストキャスティクスで見よう

NY金は買いシグナル点灯も



NY金

NY金は80%以上から下落したものの価格は下がることなく横ばいで推移している。40%程度で再びゴールデンクロスした。

トレンドはない状態のためストキャスティクスは機能するパターンだが、ストキャスティクスの位置が中途半端であるため、買う場合にはデッドクロスしたらすぐに手仕舞うなどの対処が必要だ。

東京金は上昇へ



東京金

東京金は20%以下の売られ過ぎのゾーンで、%Kが%Dを下から上に抜けたゴールデンクロスとなり買いシグナルが点灯した。

東京金は4000円～4200前後のレンジ相場となっており、ストキャスティクスが機能するものと考えられる。

1月21日高値の4221円を目標に上昇することが想定される。

TOPICSs 他市場はどうか

東京白金は大きなレンジなら



東京白金

東京白金は20%以下の売られ過ぎゾーンで%Kが%Dを下から上に抜け買いシグナルが点灯した。ただ直近は大きく下落しているため20%のラインを超えてこないようであれば、積極的には買えない。

ただしレンジの幅を大きく広げて4450円～5000円のあいだで見るとすれば、ここから再度上昇することも考えられる。

東京ガソリンは底をつけたか



東京ガソリン

東京ガソリンは安値を更新して下落しているが、ストキャスティクスは若干ではあるものの切り上がっており、ダイバージェンスが確認でき、一旦そこをつけた可能性がある。

今日の取引でストキャスティクスもゴールデンクロスしており、ここから上昇する確率が高いだろう。

ドル円は上昇する可能性も

ドル円



ドル円は下落中にストキャスティクスが何度かゴールデンクロスしていたが、上昇とはならず下がってきた。

ただし今回は20%以下からのゴールデンクロスであるため上昇につながる可能性がある。

今後の予想

今週はストキャスティクスを利用し分析した。

NY金はトレンドがなくストキャスティクスが機能する展開で、ストキャスティクスはゴールデンクロスしている。ただしストキャスティクスの位置が中途半端であるため買いは注意が必要だ。

東京金はレンジ相場でストキャスティクスが20%以下の売られ過ぎのゾーンで、%Kが%Dを下から上に抜けたゴールデンクロスし買いシグナルが点灯している。

東京白金は20%以下の売られ過ぎゾーンで%Kが%Dを下から上に抜け買いシグナルが点灯したが、大きく下落しているため上昇するにはパワーが必要となる。大きなレンジで考えれば、買いシグナルと捉えることもできる。

東京ガソリンは安値を更新して下落しているが、ストキャスティクスは若干ではあるものの切り上がっており、ダイバージェンスが確認できる。ストキャスティクスもゴールデンクロスしており上昇する可能性が高い。

ドル円は20%以下からのゴールデンクロスであるため上昇につながる可能性がある。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

発行元：株式会社コモディティー インテリジェンス
 〒103-0014東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
 会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
 メールアドレス：kondo@commi.cc